

## 記載上の注意事項

### (1) 履歴書 (別紙様式1)

- ①学歴欄には、高等学校卒業以降の学歴を記入し、卒業、修了、中途退学について明記すること。
- ②学位名欄には、授与された大学名を ( ) 書きで併記すること。
- ③職歴欄には、所属講座や部署名等を記入し、退職、転勤、昇任について明記すること。
- ④加入学会欄には、学会名および役職名を記入すること。

### (2) 業績目録

A4判の用紙に以下の順序で記入すること。なお、業績は年代順に記載し、各区分ごとに番号付すこと。

#### ①学術論文、症例報告、総説

次に掲げる区分により、英(欧)文論文、邦文論文の順で記載すること。

- (i) 学術論文：年代順に、番号、著者全員の氏名（英文の場合は、名はイニシャル）、論文タイトル名、雑誌名、発行年(西暦)、巻、ページ(始めと終わり)の順に記載し、本人の名前にアンダーラインを引き、corresponding authorに\*印を付すこと。掲載前の論文については、掲載証明のあるものを除き記載しないこと。なお、掲載証明を添付すること。オンラインでのみ公表されている場合は、URLアドレスを記載すること。

#### 【記載例】

1. Jurassic MM, Gibson G\*, Orner MB, Wehler CJ, Jones JA, Cabral HJ. Topical fluoride effectiveness in high caries risk adults. J Dent Res. 2022;101:898-904.

- (ii) 症例報告：前記の「学術論文」に準じて記載すること。
- (iii) 総説：前記の「学術論文」に準じて記載すること。

#### ②著書

- (i) 編集書の場合：編者名、発行年（西暦）、書名、出版社名、発行地、総ページ数を記載すること。
- (ii) 単行本への寄稿論文の場合：執筆者名、発行年（西暦）、論文タイトル名、著書名（編者名）、出版社名、発行地、記載ページ（始めと終わり）を記載すること。
- (iii) 単行本として発刊された抄録集(proceedings)の場合：執筆者名、発行年（西暦）、論文タイトル名、著書名（編者名）、出版社名、発行地、記載ページ（始めと終わり）を記載すること。

#### ③翻訳書

前記の「著書」に準じて記載のこと。ただし、原著の書名、著者名、出版社名、発行地も併記すること。

なお、①学術論文、症例報告、総説の英(欧)文論文については、Impact Factor (IF)、被引用回数 (Citations: CI)等の集計のため、別紙様式2-1、2-2、2-3にもそれぞれ記入すること。その際、最新のIF(小数点以下第3位まで)、CIを記載すること。CIについてはWeb of Scienceより抽出したものとする。

(3) 学会発表目録

A4判の用紙に過去10年間のものを、招待発表（特別講演、シンポジウム報告等）と一般発表に分け記載すること。それぞれ年代順に通し番号を付け、発表者全員の氏名（英文の場合、名はイニシャル）、発表タイトル、学会名、発表年月日、開催地名を記載し、本人の名前にアンダーラインを引くこと。なお、一般発表については国際学会での発表のみ記載すること。

(4) 主要学術論文10編の別刷（各6部、コピー可）

業績目録中の主要学術論文10編の番号に○印を付し、その別刷各6部（コピー可）を添付すること。

(5) 現在までの主な研究、教育、および臨床の内容

A4判の用紙に、2,000字程度に要約し、学位指導の実績等も具体的に記載すること。

(6) 代表的な臨床症例6例

I. 症例の概要、II. 診断と治療方針、III. 治療内容、IV. 経過観察と考察を、1症例につきA4判の用紙1枚にまとめて記載すること。

研究的な症例、保険外診療症例などを含めても可とする。なお、症例の多様性に配慮すること。

(7) 研究、教育（学部および大学院教育）、臨床および教室運営に対する抱負

A4判の用紙に、3,000字程度に要約し、記載すること。

(8) 科学研究費補助金・各種研究助成金等外部資金の獲得・受領状況（別紙様式3）

①過去10年間の獲得状況を直接経費、間接経費に分け記載すること。

②分担者としての助成金については、分担者として助成金を単独で直接受領した場合のみ記載し、その分担金額を記載すること。

(9) 特許等の取得および出願状況

(10) 関連する資格（歯科医師免許、医師免許、認定医、専門医、指導医など）の証書の写し

(11) 推薦者のある場合は、その推薦状（ただし推薦者は個人に限る）